

Liberty



リバティおおさか
大阪人権博物館
〒556-0026大阪府浪速区浪速西3-6-36
TEL.06-6561-5891(代) FAX.06-6561-5995
ホームページ <http://www.liberty.or.jp/>

本年もリバティおおさかの自主運営を共に担ってください。

大阪人権博物館(リバティおおさか)は1985年12月に開館した博物館法にもとづく登録博物館です。人権に関する歴史資料の収集、保存、調査研究、展示公開を行うことにより人権意識の伸長に貢献する事業を行っています。

総合展示では被差別部落、障害者、女性、ハンセン病回復者、薬害エイズ、ホームレス、在日コリアン、沖縄、アイヌ民族、性的少数者、いじめなど、さまざまなテーマを資料と映像によって展示しています。開館以来、約150万人の方に利用していただいております。

2012年4月に、大阪府知事と大阪市長による視察において「差別や人権に特化されており、子どもが夢や希望を持てる内容になっていない」と指摘し、2013年3月をもって、大阪府と大阪市は財団への補助金を廃止しました。しかし、リバティおおさかが果たしてきた社会的役割を考えると、簡単に歴史を閉じるわけにはいきません。この間、補助金継続を求める45万筆を超える署名と多額のカンパをいただきました。あらためまして、みなさまに感謝申し上げます。私たちは、公益財団法人の特性を活かし、これまで以上に市民社会にねぎした運営を継続させるため、心ならずも入館料、各種サービス料金の改定、開館日数と時間の短縮、維持管理費用、人件費の見直しを行い、経費を5割以上削減しています。また2012年10月に、寄附金によるスポンサー制度と会費によるサポーター制度を発足し、継続した自主運営の礎としてきました。全国の数多くの皆様より申込みをいただき、本当にありがとうございました。しかしながら、サポーターについては目標には達していません。大阪人権博物館が、これまでの人権啓発と人権教育に果たしてきた役割を持続的に継続していくためには、更に多くの皆様にリバティサポーターになっていただき、継続して運営を支援していただきますよう、お願い申し上げます。日本における、博物館、そして人権文化の試金石といえる私たちの活動に対して、是非とも皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

公益財団法人 大阪人権博物館 理事長 成山治彦

*「リバティサポーター」について

サポーターとは大阪人権博物館の趣旨に賛同・共感し、その活動を支援しようとする個人のことで、年間1口が6000円

*「リバティスポンサー」について

スポンサーとは寄附金をいただく企業や団体のことで、年間1口がA-100万円、B-10万円

※必要な方は申込みチラシをお送りいたします。

事務局までお電話ください。(06-6561-5891)

企画展「太鼓のふるさと一渡辺・西浜・浪速」

2014年1月11日(土)～3月19日(水)

主催:なにわ太鼓のふるさとプロジェクト実行委員会 協力:太鼓正

太鼓つくり300年の歴史をもつ浪速地区。太鼓の町浪速の太鼓の歴史を通して太鼓文化を発見。

【展示内容】 1. 太鼓のふるさとの歴史—近世・渡辺村時代

2. 太鼓のふるさとの歴史—近代・西浜時代

3. 太鼓のふるさとの歴史—現代・浪速町時代

4. 太鼓作りの技

5. さまざまな太鼓

6. 太鼓の打ち手たち

【会場】 特別展示室

【関連催し】 ■フィールドワーク 『太鼓のまちを歩く』 2月1日(土)13時30分～16時

【案内】「浪速部落の歴史」編纂委員会

【講演】『太鼓の町なにわに育って』講師:浅居明彦(「浪速部落の歴史」編纂委員会)

【参加費】 無料(申込み・入館料必要)

■猿まわし 3月初旬(予定)

2013年度文化芸術振興費補助事業(地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業)

来館者の声(特別展「いじめと差別～人権教育のあゆみから振り返る～」より)

◎ぼくはいじめられている人のいしょをみたらほとんどの人がなにもしていないのかおや性格でいじめのひょううてきになっているのがすごくやさしかった。(兵庫県10代)

◎15歳前後で自ら命を絶つ、そのたどたどしい文字ながら苦しみの伝わる遺書を読み涙が出る思いであった。被害者も悪い、被害者にもいじめられる要因や弱さがあるという見方もあるが、今回の特別展を拝見し、必ずしもそうではなく、やられたらやり返すという悪循環の手法を選ばず他人に優しくありたいという気持ちを持ち続けた小年少女の人権を踏みにじった加害者及びそれを取り巻く大人社会を変えてゆくべきと思った。(兵庫県50代)

◎心にしみる話でした。大人が頭で考えた抽象論ではなく、子ども達のそれぞれの悩みや苦しみ矛盾が浮かびあがるようでした。でも、今日のお話にたどりつくまでには小森さんの長い長い苦しみがあったことでしょうね。小森さんの口から「加害者」を責める言葉はではなく「加害者」も悩みや苦しみを抱えているという言葉だけを聞いたことが、いちばん心に残っています。(神奈川県50代)

本年もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。みなさまのご来館をお待ちしています

- 開館時間 通常10:00～16:00(入館は15:30まで)
土曜10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 日曜、月曜、祝日、第4金曜
12/20～1/10、3/20～4/10
- 入館料 大人500円(400円)、高・大生300円(200円)
小・中生200円(100円)、65歳以上300円(200円)
障害者(介助者含む)は無料
※()内は有料入館者が20名以上の場合
- 電車でお越しの方 JR環状線「芦原橋駅」南出口、600m



広報リバティ61号 2014年1月10日発行 編集・発行 大阪人権博物館

〒556-0026 大阪市浪速区浪速西3-6-36 TEL 06-6561-5891 FAX 06-6561-5995 ホームページアドレス <http://www.liberty.or.jp/>

o